

令和 3 年 3 月 5 日

洞爺湖町議会令和 3 年 3 月会議  
町 長 行 政 報 告

番 号                      件                      名

- 1 寄附について
- 2 町内医療機関の診療再開について
- 3 公共施設の所在地の修正について
- 4 財産の売却について
- 5 アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」の開設について
- 6 社会福祉法人あぶた福社会における社会福祉施設等整備について
- 7 ジオパーク圏域1市3町と郵便局との連携について
- 8 各種事務事業の取組状況について

## 1 寄附について

前会議から本会議までの間、次の方々より寄附の申し出があり、ご厚志に添うようありがたく受納いたしました。

### (1) 金員の寄附

札幌市中央区宮の森3条12丁目2番1号

若狭高司氏

金額 2,000,000円（育英資金事業）

### (2) 金員の寄附（ふるさと納税寄附金として）

個人（匿名含む）59件（累計 3,440件）

総額 831,000円（累計 73,587,500円）

### (3) 物品の寄附

洞爺湖町入江190番地193

齊藤建二氏

アイヌ用具（アイヌ民族共生拠点施設展示品として）

## 2 町内医療機関の診療再開について

昨年12月に町内の医療機関で新型コロナウイルス感染症の陽性者が確認され、外来診療等を全面的に休止しておりましたが、医療機関の懸命な対応や関係機関の支援により集団感染が収束し、本年2月1日から通常診療が再開されております。

この間、地域の皆様方には、誹謗中傷などの大きな問題もなく収束を迎えたことに感謝を申し上げますとともに、関係機関や医療従事者の皆様のご尽力に敬意を表します。

## 3 公共施設の所在地の修正について

このたび、公共施設の条例上の所在地と実際の地籍図の所在地番とに相違があり、全施設を調査したところ19条例中38施設の地番に相違があることが判明いたしました。

相違の原因といたしましては、土地の分筆や合筆などによる地番の変更が行われた際に、地番変更に伴う条例改正が行われていなかったものなどであり、今後につきましては、適切に事務処理を行なってまいります。

また、所在地番の修正に係る条例改正の議案を本会議に提案しておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

#### 4 財産の売却について

町では、洞爺町114番地5の土地を町内の社会福祉法人に840万円で売却することを予定しておりますので、ご報告申し上げます。

当該土地は、洞爺地区の旧公民館が建設されていた土地であり、平成28年度に旧公民館を解体し、駐車場という位置づけで現在に至っております。

その後、当該法人より成香に本部事務所を兼ねた施設を建設する予定であったが、町の景観の関係から規模を縮小したため、本部事務所のスペースがとれなくなったこと、また、新型コロナウイルスなどの感染症が発生した際のリスク管理の観点から、本部事務所と施設を別々に設置する必要があることから、昨年6月に当該土地を本部事務所として購入したい旨の申し入れがありました。

町としましては申し入れを受け、6月下旬に洞爺地区の自治会長との意見懇談会を開催し、当該法人からの申し入れ内容を報告したところ、沿線の地域の声を聞いて進めるようにとのことであったため、7月に沿線の自治会の方々と意見交換を行いました。

地域の方々からは、様々な意見が出されましたが、売却を反対する意見はありませんでした。

その後、地域の声を当該法人に伝えながら売却について検討してきましたが、町としましては11月に、地域振興、地域の活性化などに繋がるとの理由から売却する方針を固め、再度、地域の方々と意見交換を行った結果、反対意見もなく地域の理解は得られたと判断し、売却を決定しました。

なお、売却価格につきましては、売買実例価格、北海道の地価調査価格、固定資産税の鑑定価格、これらの3つの価格に基づき、当該法人の地域への貢献度を総合的に考慮し価格を設定しております。

また、売却に係る補正予算を本会議に提案しておりますので、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

#### 5 アイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」の開設について

アイヌ政策推進交付金を活用して整備を進めているアイヌ民族共生拠点施設「ウトウラノ」を4月1日にオープンいたします。

この施設は、アイヌ教育に尽力された白井柳治郎氏の資料の展示や洞爺湖アイヌ協会の活動拠点、自治会等のコミュニティ活動の場、さらに子供たちの学びの場として活用してまいります。また、当該施設において、アイヌ文化体験教室などの開催を予定しているほか、各団体や地域の方々が気軽に利用できる施設となっておりますので、町民への周知に努めてまいります。

併せて、同交付金を活用して購入した、アイヌ文様を施した虻田地区コミュニティバスについても同日に運行を開始いたします。

なお、施設の内覧会及び虻田地区コミュニティバスの御披露目を、3月30日に行いますのでご報告いたします。

## 6 社会福祉法人あぶた福祉会における社会福祉施設等整備について

社会福祉法人あぶた福祉会が、「障害のある方々やその家族が安心して暮らすことのできる地域づくり」を目指す地域生活支援拠点として、整備を進めておりました施設が、昨年12月25日に竣工いたしました。

施設の名称を「さぼーとステーションゆうあい」として、友愛の里相談支援センター、地域サポートセンターふれんど、研修センター、デイセンター憩いの丘、地域交流、法人事務センター等の事業が実施されることとなっております。

また、健康福祉センターのトレーニング機器につきましても、本年4月より、同施設での委託業務を開始いたします。

町といたしましては、障がいのある人や高齢者が地域で自分らしく生きがいを持って暮らせるよう、更には地域共生社会の役割を担う地域住民の交流拠点となる施設として活用できるよう協力してまいります。

## 7 ジオパーク圏域1市3町と郵便局との連携について

現在、全国の郵便局では、地域と連携し、地域社会の発展・活性化に向けたさまざまな取組みが進められております。その一環として、現在までに虻田郵便局等にジオパークのPRコーナーが常設されておりますが、さらなる連携事業として、ジオパーク圏域1市3町の郵便局における郵便配送及び営業車両53台へのジオパークPRステッカー貼付を今年度3月中に実施することとなりました。

併せて、洞爺湖町内の3地域（虻田、洞爺湖温泉、洞爺地区）における郵便ポスト3台をユネスコ世界ジオパーク仕様に装飾する「特殊ポスト」とする取り組みをジオパーク構成市町のなかで先行実施することになりました。

また、次年度には、ユネスコ世界ジオパーク認定地域の記念切手の制作を予定し、圏域郵便局との連携・協力のもとでジオパーク圏域一体となったPR事業を実施してまいります。これにより、日本で初となる世界ジオパーク認定地域としての認知度が全国的に大きく向上するものと期待しております。

## 8 各種事務事業の取組状況について

前会議から本会議までの各種事務事業の取組状況について、次のとおり報告いたします。

### (1) 新型コロナウイルス感染症に係る各種支援対策の実施状況について

新型コロナウイルス感染症に係る各種支援対策の実施状況について、2月28日現在の状況を次のとおり報告いたします。

区 分	対象数	受付数	支給数	事業期間
①特別定額給付金	4,868 世帯	4,843 世帯	4,842 世帯	終了 5/18～8/17
②子育て世帯への臨時特別給付金	816 人	—	763 人	終了 5/11～9/10
③洞爺湖町店舗等賃借料助成金	170 事業所	58 事業所 うち追加交付 9 事業所	57 事業所 うち追加交付 9 事業所	終了 5/1～10/31
④事業者支援（宿泊施設）	42 事業所	30 事業所	30 事業所	終了 6/15～9/30
④事業者支援（観光事業者）	32 事業所	30 事業所	30 事業所	同 上
④事業者支援（飲食店）	88 事業所	71 事業所	71 事業所	同 上
④事業者支援（その他）	310 事業所	187 事業所	187 事業所	同 上
⑤大学生等支援事業	180 人	112 人	112 人	3/31 まで
⑥飲食店宅配サービス支援事業	—	—	593 件	終了 5/26～2/28
⑦観光支援事業（町内）	1,000 セット	1,000 セット	994 セット (引換済)	終了 6/25～8/31
⑦観光支援事業（町外）	1,000 セット	741 セット	620 セット (引換済)	終了 6/29～8/31
⑧感染予防事業所支援補助金	170 事業所	94 事業所	94 事業所	8/17～3/31
⑨新生児特別定額給付金	38 人	26 人	26 人	8/7～3/31
⑩ひとり親多子世帯臨時特別給付金	42 人	42 人	42 人	8/11～3/31
⑪プレミアム商品券発行事業	26,000 セット	—	20,039 セット (引換済)	終了 9/14～2/14
⑫おもてなし商品券発行事業	20,000 枚	20,000 枚	19,901 枚	終了 8/8～10/31
⑬冬季宿泊割引事業 とうや湖割	30,000 人	7,745 人	7,745 人	終了 11/1～1/31
⑭農林漁業者事業継続支援補助金	162 事業所	155 事業所	155 事業所	終了 12/1～1/31
⑮医療機関等対策支援金	23 事業所	23 事業所	23 事業所	終了 12/1～1/8
⑯スナックバー等経営継続支援給付金	30 事業所	22 事業所	22 事業所	終了 12/16～2/26

区 分	対象数	受付数	支給数	事業期間
⑰飲食店経営継続支援 給付金	60 事業所	41 事業所	41 事業所	2/10～3/10
⑱医療機関等支援金	1 事業所	1 事業所	1 事業所	2/8～
⑲温泉使用料支援事業	15 事業所	14 事業所	14 事業所	2/10～3/1
⑳宿泊助成クーポン券 発行事業（町内）	2,000 セット	745 セット	745 セット	2/24～4/27
⑳宿泊助成クーポン券 発行事業（町外）	1,000 セット	582 セット	582 セット	2/26～4/27

※ 対象数には見込を含む。

(2) 核兵器禁止条約発効を記念した平和パネル展について

去る1月20日から26日までの間、洞爺湖町非核平和のまちづくり実行委員会の主催による非核平和パネル展を役場ロビーで開催いたしました。

このパネル展は、新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じた上で、本年1月22日の核兵器禁止条約の発効に合わせ、日本非核平和宣言自治体協議会の作成したポスターや、広島・長崎の原爆による被害を伝える写真パネルの展示を行いました。

当町は、平成20年に非核平和の町宣言を行っており、今後も、同実行委員会の皆様とともに、戦争と核兵器による被害の悲惨さを伝え、平和な未来を子どもたちに引き継ぐことができるよう各種事業に取り組んでまいります。

(3) 長寿祝い金の贈呈について

町内在住で1月及び2月に100歳の誕生日を迎えられた次の3名の方々に、花束とともに長寿祝い金を贈呈いたしました。

当町発展の礎を築かれた方に対し、心から感謝と敬意を表しますとともに、今後益々お元気でありますようご祈念申し上げます。

(敬称略)

贈呈日	氏 名
1月15日	太 田 シヅ子
1月29日	泰 地 ト シ
2月22日	井 山 タ メ

(4) 工事等の入札状況について

工事等の入札状況について、別紙のとおり報告いたします。

工事(委託)入札契約状況

番号	工事(業務)名	入札(見積合せ)				契約				工事(業務)概要	
		月日	指名業者	入札(見積)価格	入札回数	予定価格	月日	工期(期間)	契約金額		請負業者(受託者)
1	板谷川団地2号棟201号室改修工事実施設計業務	1月22日	(株)菅設計企画 奥山建築設計事務所	1,470,000円	1回	2,563,000	1月25日	1月26日～ 3月12日	1,617,000円	(株)菅設計企画	内装撤去及び住戸内復元改修に係る実施設計業務 施設面積 A=655㎡ RC造2階建て 12戸
2	虻田市街大通り線照明灯改修工事	1月22日	阿部電気工事(株) 共和電設(株) (株)福岡電設	5,000,000円	1回	5,577,000	1月26日	1月27日～ 3月25日	5,500,000円	共和電設(株)	歩道照明器具設置 (北電柱共架) N=14台
3	たかさご公園フェンス改修工事	1月22日	(株)小松組 伝建設(株) (有)コバック	3,540,000円	1回	3,971,000	1月27日	1月28日～ 3月25日	3,894,000円	(有)コバック	フェンス(H3000) L=22m フェンス(H1200) L=59m 既設フェンス撤去 L=70m
4	事務用パソコン更新業務	1月22日	(株)宮田書店 福島文具店 (有)スペース27	707,400円	1回	891,000	1月25日	1月26日～ 3月19日	778,140円	(有)スペース27	デスクトップパソコン本体 9台
5	アイヌ民族共生拠点施設備品(事務機器)購入業務	2月4日	福島文具店 (株)宮田書店 昌文堂	5,253,000円	1回	7,521,690	2月5日	2月6日～ 3月19日	5,778,300円	福島文具店	会議用机 40台 会議用椅子 80脚 等
6	アイヌ民族共生拠点施設備品(電気製品)購入業務	2月4日	福島文具店 (株)宮田書店 (有)スペース27	760,500円	1回	1,170,290	2月5日	2月6日～ 3月19日	836,550円	(有)スペース27	ノート型パソコン 1台 43V型4K液晶テレビ 2台 等
7	役場庁内・支所サーモグラフィー体温計購入業務	2月12日	福島文具店 (株)宮田書店 (有)スペース27	772,000円	1回	1,277,320	2月12日	2月13日～ 3月19日	849,200円	(有)スペース27	顔認証型サーモグラフィー 体温計本体 4台 顔認証型サーモグラフィー 体温計スタンド 4台